

あけまして
おめでとう
ございます

丁酉元旦

平成二十九年謹賀新年

代表理事 熊谷 道夫

明けましておめでとうございます。

昨年は会員各位、支援者の皆さまのご協力により、順調に事業展開ができましたことに心から感謝申し上げます。

今年、当会が設立されて二十周年の記念の年にあたります。

設立以来、尽力された多くの先輩の皆さまに、御礼を申し上げますと共に、今後も、ご指導、ご支援を賜りますようお願いいたします。

さて昨年十一月二十二日、世間では「いい夫婦の日」と言われますが、朝方大きな地震が福島沖を震源地としてありました。

仙台港に一、四メートルの津波が押し寄せ、全国的に注目され、テレビでは「逃げる、逃げる」との連呼が盛んに行われました。

丁度その日は、小学校六年の「クラス会」の日でした。

卒業してから、六十年が過ぎており、年々参加者は少なくなっていますが、毎年欠かさず開催してくれるクラスメイトに、感謝の気持ち一杯です。

昼食を取りながらの話題は、多岐に渡りますが、楽しい一時でした。

「高齢者の交通事故」、「健康と病気」、「趣味」、「生涯学習」、「孫自慢」、「介護」、「PC」等々。

百四歳の義母を在宅で看取り、後期高齢者となった現在、PC教室に通っている方もいました。

超高齢社会の到来 2025年問題

二千二十五年に団塊の世代が七十五歳を迎え、全人口の二割弱が七十五歳となる。

クラス会の話の中では、我々が介護を受ける時代には、「介護ロボットと外国人」が主力となるとの話が、やや自虐的にですが話されました。

高齢者を取り巻く状況が説明される時、結語では「高齢者はサービスの受け手となるだけ」でなく、「担い手になることが期待される」と強調されるようになった。

今、「地域包括ケアの推進」については、様々な説明がありますが、その基本は、最後まで自分らしく安心して暮らせる「地域」を作っていく事にあると考えます。

地域包括ケアの構成要素として「住まい」、「在宅介護サービス等」、「在宅医療」、「ネットワーク」などがありますが、是非「利用者本位」の視点に立った取り組みを求めたいと考えます。

「地域包括ケアシステムの構築」は、地域Ⅱ町、包括Ⅱぐるみ、ケアシステムⅡ支え合いのしくみと読み替えて使用しているとの発言が、ある自治体の幹部からありました。

「専門性」ばかりに特化することなく、「市民参加」に配慮した取り組みが求められています。

雑駁な年頭の挨拶となりました。

会員、関係者各位の、今年一年のご多幸を祈念しております。

元気に明るく活動しましょう

活動体験のなかから、①会員になったきっかけ、②調査に同行して感じた事、③主任調査員・調査員を経験して、④介護・福祉について思う事、⑤趣味・特技 についてコメントを寄せていただきました。

活動の更なる充実を……



私の望み「幸」 ～～ 馬上 敏子 ～～

- ①太極拳の友人から誘いを受けて
- ②先輩調査員の方々が「介護サービス情報の公表」の制度を理解し、

臨機応変な対応に畏敬の念を覚えました。

③「介護サービス事業所の業務を勉強し、理解を深めることが必要である」と認識しました。

・訪問者として丁寧な対応が必要であることを感じました。

④介護する人・される人・される人の家族、すべての人が「幸」である環境が私の望みです。

⑤篠笛を演奏すること



充実した内容のケアの実践を… ～～ 小倉 美代子 ～～

- ①友人の紹介で気軽に研修を受けさせていただきました。
- ②緊張して、自分にはできないと感じ

ました。

③確認のための材料をしっかり見られるように勉強していく事が大切だと思いました。とても緊張します。

④いずれ公的サービスを受ける事になるので、少しでも事業所の方々に充実した内容のケアをしていただきたいと思います。

⑤卓球(週4回)



介護保険の更なる充実 ～～ 清野 芳弘 ～～

- ①以前に勤務していた職場の先輩に誘われました。
- ②先輩調査員の方々は調査項目の

内容について十分に理解していました。早くスムーズな調査が出来るようになりたいと思います。

③どこの事業所もまじめに一生懸命取り組んでいることがわかりました。

④過去に二人介護保険のお世話になり、介護される本人は勿論、家族も本当に助かりました。益々高齢化が進む中、さらなる充実が求められるのではないのでしょうか。

⑤里山の散歩



未知の世界を… ～～ 高橋 志津子 ～～

- ①調査をする仕事をしてみたいかというお誘いを受け、知ることも、知る機会もなかった世界を知りたくて…

②これまで3回5事業所に同行。高齢化社会、核家族化した現代になくなくてはならない事業であり、また他人(ひと)の人生の終盤を請け負う仕事、単に営利目的だけでやれるものではない深遠な事業なんだな～と痛感。

③真に利用者の福祉を考え、自分が利用者の立場だったら、どうしてももらったらうれしいのか、快適と感じるのかは、経験してみなければわからないからと自ら体験までする若き事業主のいることに驚き、その熱意と誠意ある取組みに感銘を受けました。

従業員にも積極的に資格を取らせ、様々な研修に参加させ人間性を育てている事業主がいることにホッとするというか…

介護施設の不祥事の続く中、こんな人間味のある施設もあることにホッとすると共に、こうした人々にふれることの出来る調査員としての仕事にやりがいがあるのではと思えた経験でした。

④年々高齢化社会になっていく昨今、家族だけの介護は難しく、介護事業は今日の社会の必須事業なのでしょう！誰もが等しく年を取り、他人(ひと)に迷惑をかけたくないと思い乍ら、不本意に誰かの世話を受けねばならなくなった時、社会を支えて、老いた今こそ、安心して、自分らしい人生の終盤を送れるよう福祉の充実を図ることは、当然の努めなのだと考えさせられました。この調査がその充実の一助になるとするのなら幸いです。

⑤読書



「安心」と「満足」 ～～ 堀越 洋子 ～～

- ①今まで分からなかった介護の仕事に興味がありました。
- ②確認のための材料を適切に判断

出来るのが凄いと思います。

③難しく似たような言葉で大変だなあと感じました。

④必要としている人に安心と満足が得られる社会になればと思います。

⑤旅行

下記の項目についてコメントを寄せて頂きました。

- ①会員になったきっかけ
- ②調査に同行して感じた事
- ③主任調査員・調査員を経験して
- ④介護・福祉について思う事
- ⑤趣味・特技

不断の「PDCA」

～～ 佐藤 保夫 ～～

①認知症の母を介護していましたので、介護サービスを、どの事業所にするか大変迷いました。介護サー



ビスの公表制度の調査活動は利用者本位の選択の手助けになると思い入会しました。

②身の引き締まる思いです。四畳半いっばいに並べられた調査対象資料を見て、啞然とするばかりでした。

しかし、先輩調査員の笑顔をもって見事に処理する姿勢に感服しました。

③提供される介護サービスが不断に「プラン・実行・チェック・見直し」を行い、質の向上を図るケアマネジメントが、公表制度の要であると感じました。

④介護保険は、介護サービスを民間に開放し、家族介護の社会化に有ります。

しかし、財政逼迫という美名？のもとに制度の改悪になってしまうようで不安です。

⑤映画鑑賞です。「或る終焉」は訪問看護を、また、「はじまりはヒップホップ」は予防介護の事でした。

「ゆずの葉ゆれし」の松原智恵子は、日活時代そのままの美しさ。

地域住民との密着

～～ 伊藤 博實 ～～

①元会社の上司からの誘いがあり、一万人の活動に興味がありましたから会員になりました。

②・資料の確認と現場確認の調査項目を事前にチェックしておく事。

・訪問事業所への交通手段や所要時間の十分なチェックが必要

③事業所に入る前に携帯電話のマナーモードの切り替えや、帰る時に忘れ物がないか、お互いに声を掛け合う事が必要だと感じました。

④老々介護で不幸なニュースを知るたび、福祉政策の重要性と不備な面を考えさせられる。地域住民と密着した政策制度の確立を早急に推進すべきだと思います。介護職員の質の向上と福祉の向上を願う。

⑤映画鑑賞



スキルの向上を目指して

～～ 伊藤 美恵子 ～～



①知人からの紹介
②施設により様々で、それぞれに合わせた話し方も大切かと思い、スキ

ルを上げていかねばと思いました。

③主任の方々の話し方、聞き方などに接し、事前に充分準備して臨む必要性を痛感しました。

④プロである、なしにかかわらず、一人ひとりの心の成熟がないと、超高齢社会の介護・福祉のあり方は変わらないと思いました。

⑤写経・音楽

知識と情報の広がり求めて

～～ 竹内 妙子 ～～



①一万人市民委員会の方に声を掛けて頂き、介護に関心があったので何らかの形で介護の勉強が出来れば

知識・情報が広がると思い入会させて頂きました。

②確認の為の書類の多さに新ためて驚きました。調査の主旨と事務所の解答が異なる場面もあり、調査の大変さを実感しました。

③公平である為の確認が、事務所毎に書類が異なったりするので戸惑うことがあります。

④これからますます介護は必要なものとなり、施設の充実が要求されていくと思います。情報の公開のなかで多くの選択肢があれば、利用する側も安心出来るのではないかと思います。

⑤バレーボール・テニス

必要な時に、必要な人に

～～ 眞山 若葉 ～～



①これまでの仕事に一区切りつき、福祉に関して何かできることがあればと思っていたところ、知人に誘

われ即決しました。

②同行させていただいた先輩調査員の方々の口調のやさしさ、質問の的確さに感心しました。調査の難しさも実感し、即決したことを後悔しました。

③先輩調査員の後を追うばかりで何もできず、早く迷惑をかけないようにならなければならないと思いました。

④自分が介護される側になった時に、質の高い介護を受けたいと思っており、必要な時に必要な人に、すぐに提供できる福祉を願っています。

⑤食べ歩き

第4回理事会模様

- ★平成28年11月15日(火)、仙台市生涯学習支援センターにおいて、第4回理事会が開催され、会員の現況報告、地域包括ケアシステムの具体化などについて話し合われた。
 - ・(社)宮城県社会福祉協議会が設立した「宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議」メンバーとして参加することが承認された。
 - ・「地域包括ケアシステム」の具体的な取り組みの一環として、榴岡地域包括支援センター主催の「榴岡ほっとサロン」への参加・支援など、他団体が主催するコミュニティ・生活支援活動への積極的な参加・支援活動に取り組んでいくこととする。
 - ・設立20周年記念事業についてプロジェクトを立ち上げ検討する。
- (※詳細については事務局備付けの議事録を閲覧願います。)

「第三者評価調査者」フォローアップ研修

平成28年11月8日(火)仙台市生涯学習支援センターにおいて、元宮城県保育士会会長平塚幹夫氏を迎え、今年度重点的に取り組むこととしている「保育所等子ども施設」に合わせて、「第三者評価調査に関する厚労省の動向」についての研修が行われました。



平成28年度「宮城県地域密着型サービス外部評価調査員」フォローアップ研修

平成28年10月3日(月)宮城県庁講堂において、宮城県主催の「地域密着型サービス外部評価調査員」のフォローアップ研修が開催されました。

午前中は①サービス評価の現状と動向、②評価項目の内容の理解、③対話技術の向上と評価票の記入について、NPO法人・地域生活サポートセンター事務局長の平林景子氏の講話、午後からは事業所、市町村の担当者を交え、「サービス評価の円滑かつ効率的な実施、活用法」について平林氏の講話に引き続き、外部評価機関の取り組みについて、一万人市民委員会・副代表理事早坂幸代氏、介護サービス非営利団体ネットワークみやぎ・副理事長入間田範子氏の報告、事業所の取り組みについて、グループホーム縄文の風・伊藤あおい氏の報告の後、外部評価全般にわたって、事業所、評価機関、市町村担当者の意見交換が行われた。



～ 平成28年度の評価調査活動 ～

◆地域密着型サービス外部評価活動

7月初めから活動を開始し、第2四半期は12事業所
10・11月は29事業所、12月は23事業所の評価調査
を終えました。

本年度の評価調査予定127事業所に対し、約50%
の進捗率となっています。

◆情報の公表調査活動

9月26日からスタートした調査活動は9月に30
事業所、10月に76事業所、11月に93事業所、12月に
66事業所と順調に進められています。

本年度の調査予定事業所数427事業所に対し、
62%の進捗率となっており、平成29年2月末まで
に調査完了を目標に取り組んでいます。

◆福祉サービス第三者評価

・特別養護老人ホーム「成仁杜の里仙台」につい
て、10月に訪問調査、11月に第三者評価委員会を
終えて、12月に評価結果の公表となっています。

・母子生活支援施設(社会的養護施設)「仙台むつ
み荘」について、11月に訪問調査、12月に第三者
評価委員会を終えて、29年1月に評価結果の公
表予定となっています。

◆よろず相談会のご案内

身近な困りごと、悩みごとなどの相談会を当会顧問
の武田貴志弁護士、安田廣治司法書士を相談役に、両先
生から法律、成年後見関係の分野に限定せず、生活全
般、法律相談などに関する「なんでも」相談していただ
きます。(無料です)

時間と場所は次のとおりです。

* 時 間:午後1時～3時(毎回)

* 場 所:テルウエル相談室(一万人市民委員会宮
城事務所隣り)

* 受付電話:022-293-8158

FAX:022-293-8230

申し込み締切日は開催日の7日前としますがそれ以降で
も有りましたら、連絡願います。

お気軽に相談願います。

☆開催日程(29年1月～29年3月)

- ・ 1月20日(金) 相談役 安田廣治司法書士
- ・ 2月28日(火) 相談役 武田貴志弁護士
- ・ 3月22日(水) 相談役 安田廣治司法書士

～～ 「地域包括ケアシステム推進 検討委員会」を立ち上げました ～～

仙台市では、高齢者の尊厳の保持と自立生活の
支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域
で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けるこ
とができるよう、地域包括ケアシステム(地域の包
括的な支援・サービス提供体制)の構築を推進し
ているなかで、行政サービスのみならず、NPO、ボ
ランティア、民間企業等による支援体制と高齢者
の社会参加が求められています。

これを受けて「地域包括ケア推進検討委員会」を
立ち上げ、会議では①仙台市との対話、情報交
換、②地域ケア会議への参加、③生活支援コー
ディネーターの育成、④地域包括支援センター主催
のサロン・カフェ等運営サポート 等に取り組んで
います。

原 稿 募 集

☆私の健康法

☆特技・趣味

☆評価活動時の色々な場面でのエピソード

☆ニュースレターについて一言

☆日々のあれこれ(生活の中で感じたこと)

☆川柳、俳句、短歌

等々テーマは自由、字数は400字程度

★原稿宛先:一万人市民委員会事務局

(ファックス、メール、郵送いづれでも可)

～～ 皆様からの投稿をお願いします ～～

◆成年後見センターのご案内

こんな時には当センターへお気軽に相談下さい。

・最近物忘れが多く通帳やお金の管理ができなくな
ってきた

・一人暮らしで日常生活や身の管理など不安

・介護サービスを受けたり病院を受診するのに必要
な契約や手続きが一人ではできず不安

・離れて暮らしている親の判断能力が低下してきて
いる

【 受付時間 】

・月～金(土・日・祝日を除く) 9:00～17:00

【 受付電話 】

・電話:022-293-8158

特定非営利
活動法人 介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会
一万人市民委員会成年後見センターみやぎ



私の徒然

専門委員 柏倉 萬里子

介護福祉について今、思う事

健康に恵まれ、大きな怪我をすることもなく過ごして来た私ですが、昨年自転車事故で転倒し身動きできなかつた時、先ず頭をよぎったのは自宅待つか要介護の夫のことでした。

その後色々あつたにしてもあの最悪の事態を乗り切ることができたのは、家族のおかげとともに必要に応じた介護福祉が受けられたからだと感謝している。大満足とは言えないが「何とかなる、安心できる」現在の介護福祉の窓口を狭めないで欲しい。これが今の思いです。

私の健康法

考えてみれば、特別に意識し取り組んでいる健康法は私にはない。

強いていうならばストレスをため込まず、よく食べ、よく眠り、一日を忙しく過ごしている事でしょうか。

「おっと！もう一つ」。買い物が好き、良いものをしかも安く買った時の満足感は最高。

「ニュースレターについて一言」

編集者の「読んでもらえる会報」を目指す姿勢には大いに拍手をおくりたい。

その姿勢が根底にあり、又調査機関としての長年の積み重ねを、時に焦点を絞り記事に反映させているなど、近年の「ニュースレター」の内容は硬軟とりまぜた読み甲斐のある紙面になつていると思えます。これからこのスタイルで発行していただきたいと思いますね。

さて、一つ提案があります。可能であるならば、グループホームを訪問した際の心温まるエピソード、感銘を受けたことなど、特集してみたらいかがでしょうか。(グループホームに限定しません。又最近のものは除いた方がいかもれません。)



【編集後記】

「一年の計は元旦にあり」と申しますが、会員の皆様に於かれましては、気持ちを新たにして邁進されている事と存じます。

年初めのニュースレターは、第120号でスタートしました。熊谷代表理事から年頭のご挨拶を頂き、地域包括ケア推進に向けて、高齢になっても最後まで自分らしく安心して暮らせる「地域」を作り、その中で「元気で明るく活動しましょう」と力強い励ましの言葉を頂きました。

また、新調査員の方々から、5項目の内容についてコメントを頂き、ご多忙中にもかかわらず、真摯に取り組んで下さりご協力に感謝申し上げます。

ニュースレターでは投稿を募っています。皆様の心温まる投稿をお待ちしております。(團)



特定非営利活動法人
介護の社会化を進める
市民委員会 一万人市民委員会宮城県民の会
〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡4-2-8 テルウエル仙台ビル2階
Tel:022-293-8158 Fax:022-293-8230
ホームページ:http://www.ichimannin.com
Email:ichimannin@alpha.ocn.ne.jp

編集委員:荒井勝子 兼平幸雄 栗原節子 團 順子 前田泰子